



特集「検索エンジン」

桃唐先生 「おーい、手伝ってくれー！」

雉子さん 「どうしたんですか？」

桃 「来週、吉備大学の市民講座で話をするんだが、準備が間に合わない。私が昔別の講座で話したものがあつたと思ったんだが、ファイルが見つからない。」

猿田君 「先生の机の上と、ホームディレクトリーはどちらもめ ちゃくちゃだからなあ！」

犬神君 「だけど、先生の以前の話見つかるかもしれないよ。goo (グー) で探してみましよう。

<http://www.goo.ne.jp/>

ええっと、検索欄に先生の名前を入れて。おっ、4256件、先生有名人ですね。あつ、失礼、入力ミス。似た名前の他の人をいれちゃった。正しく「桃唐太郎」と。はい、先生が以前鬼が島市民講演会で話した記録は、このページに概要が載ってますね。あつ、講演集も出版されているみたいですよ。」

桃 「そうか、さっそく図書館に走って文献を探してきてくれ。」

雉 「図書館に行く前に、探す本があるかどうかウェブで見ましようよ、

<http://opac.lib.hiroshima-u.ac.jp/>

と。はい、その本は西図書館にありますね。」

猿 「犬神君はgooがご愛用か。僕はinfoseek

<http://www.infoseek.co.jp/>

の方が本格的な論文なんかはよく見つけてくれるような気がするから、こちらを先に引くけど。このあいだ、大規模疎行列の解法の最近の動向について知りたくて、本家の

<http://www.infoseek.com/>

へ行って検索したら、日本に出ている本を調べるとはるかに効率的だったよ。特にアメリカの研究者は、自分の論文もホームページから落とせるようにしてる人が多いから。」

雉 「私は昔からyahoo (ヤフー)

<http://www.yahoo.co.jp/>

ここ見てると飽きない。」

猿 「goo、infoseek、AltaVista

(<http://altavista.dec-j.co.jp/>) はロボット系で、WWW巡回ロボットが集めた膨大なデータを持っているし、yahooなどはディレクトリ系で、内容を分野別に整理して並べてあるからね。検索エンジンの最近の動向について

<http://www.etl.go.jp/yamana/Research/WWW/survey.html>

を一度見ておくともとても参考になるよ。」

犬 「gooだと、「文章の書き方」とか「美味しいラーメンの作り方」なんて入れてもちゃんと関係のあるページを見つけるから面白いよ。」

雉 「でも、出てくるページが信頼出来るかどうかは分からないでしょう。」

猿 「それは、どこでも同じさ。質の判断は自分でできないとね。」

桃 「ええと、みんな私の手伝いを忘れてないかい。さっきの鬼が島市民会館は、いろいろ面白い本を出しているんだ。今度の講演にも参考になるようなものがあつたら買っておきたいなあ。犬神くん、ちょっと生協の

<http://washoseikyoku.ne.jp/>

と、

<http://bookweb.kinokuniya.co.jp/>

で、「鬼が島市民会館」をキーワードに本が出てないか探してくれ。現在手に入る本なら、この2つを見れば、99%見つかる。」

犬 「でも、後の方は会員じゃないと見られないんじゃないですか？」

桃 「いや、20件までの出力なら、会員でなくても見ることが出来る。実は私は会員で、毎月会費を取られているのだが、パスワードを忘れてしまった。」

猿 「相変わらず、いいかげんだなあ。」

雉「便利なページを見つけるたびに、ブックマークに登録しているんだけど、増えすぎちゃって・・・」

猿「ブックマークは文字通り栞で、一時的なものだから。検索エンジンみたいに自分でしょっちゅう使うものを載せたページを作っておくと便利だよ。ぼくはこんなページにしているけど。」

桃「おっ、それは使いやすいそうだな。私のスタートページ（注）もそれにしてみよう。」

注）起動時に表示されるページは、「ホームページ」と呼ぶのが正確かもしれませんが。OmniWebの「案内」の中の「プリファレンス」、ネットスケープの「編集」、「プリファレンス」、インターネットイクスプローラの「編集」、「初期設定」、「ホーム/検索ページ」等で設定できます。（バージョンにより多少の違いがあるかもしれません。）

（ホームページ例作成協力：槌本裕二 藤原裕久）



上記の URL は <http://www.riise.hiroshima-u.ac.jp/Library/CnterNews/momotaro/> リンクフリーです。

初心者講習会

テキスト「コンピュータネットワークへの招待」を参考に5月21日17時～20時(第1回)、5月22日15時～18時(第2回)と2回に分けて1)センターのコンピュータの使い方、2)タイピング、3)WWW、4)電子メールという内容で講習会を行いました。(第1回、第2回どちらも同じ内容)

お知らせ

*混雑時のマナーが変わりました。



モニターに空席が表示され、混雑時は並ぶようになりました。

*SA(スチューデント・アドバイザー)

6月から活躍しています。メンバーはセンターの活動をボランティアで手伝ってくれる人たちで、

青山武司 北臺如法 國田祥子 築地聡子

槌本裕二 藤原至 藤原裕久(7人の侍?)
コンピュータの上に置いてあるSA四角錐が目印です。お気軽に質問をどうぞ。



momoeのブックマーク

「ぶんじ」のホームページ

<http://www.riise.hiroshima-u.ac.jp/u0971010/>

「ホラえもん」は思い出すだけで2週間は笑えました。すみずみまで飽きさせないHPです。

JINTENG's Home Page

<http://www.riise.hiroshima-u.ac.jp/jinteng/>

アジアネタは好きです。丁寧に作ってあり、ほのぼのした雰囲気がいいですね。

我が輩のホームページなるもの

<http://www.riise.hiroshima-u.ac.jp/kueki/>

題名から惹かれました。文字は多いのですが、丁寧な言葉づかいにのせられて、するすると最後まで読んでしまいます。

優雅なひととき。うさぎのホームページ

<http://www.riise.hiroshima-u.ac.jp/u0910086/>

「趣味の水彩画」が雰囲気があり、次の作品が楽しみです。

元島道信のページ

<http://www.riise.hiroshima-u.ac.jp/u0941053/>

「古武術の部屋」は詳しく作られていて、写真もたくさん使っており分かりやすいページです。一度古武術を生で見たくなります。

皆さんも是非ご覧下さい。

H10.8.31 現在

M君の夜番日誌 -- RIISEの夜の物語 --

<平成9年7月 物語前夜>

そう、あれは大学院入試の始まる前。ある夏の日のお出来事だった。

4年生だった私は、若さがあれば、人生のどんな冒険にもチャレンジできるような気がしていた。

生協の食堂にて

Nセンター長 「M君、10月からRIISE(情報教育研究センター)でアルバイトをしてみないかね?」

U指導教官 「でも、M君には難しいんじゃないの? コンピュータに詳しいやつらが、難しい質問をしてくるよ。」

Nセンター長 「大丈夫。そういう人たちは、問題が起こったら自分で解決する。」

N助手 「それに、かわいい女の子が質問に来る事もある。」

わたし 「やります!」

Nセンター長 「時給はTAなみ。」

わたし 「絶対、やります!!」

ふっ・・・あのころはまだ若かった。

<平成9年10月 物語の始まり>

10月1日。仕事内容の説明を受ける。

また、ほかの人達と働く日程の調整をした。

火曜日と水曜日の夕方5時から夜9時までが私の担当である。

さあ、これからバイトだ!

そう、すべての手続きが完了した後のことであった。

Nセンター長 「みなさん、悪い知らせです。どうも時給は、TA程よくないそうです。」

うっ、体から力が抜けていく。しかし助手のNさんの言葉を思いだし、私はさわやかな笑顔で仕事を開始した。

<平成9年11月 困った人たち>

さて、夜番をする事になったのだが、どうも困った人たちがいることに気づいた。

(1)勝手に電源を落とす人たち

(2)パスワードを忘れてくる人たち

(3)ログアウトせずに帰る人たち

(4)意味不明の大量印刷、印刷したものを持って帰らない人たち

(5)マナーが悪い人たち

(6)端末を手荒に扱う人たち

などなど。困ったものだ。とりあえず、手引き書をよく読んでほしい。



何かわからないことがあったら、準備室へ。

何があっても、勝手に電源を落としてはいけません。こ

れまで何台のコンピュータが病院送りになったことか・・・

<平成9年12月 クリスマスイブ>

卒業研究と夜番だけの人生。せめてクリスマススイブの日くらい幸せになろう。今年の12月24日は水曜日だ。つまりバイトの日。えっ、ということはイブの夜にバイト?

がーん。私の目の前は真っ暗になった。
しかし、冬休みなので RIISE は夕方 5 時まで。うれしい!!
・・・と、思いきや某研究室の「抜け駆けはだめよ。麻雀大会 -- 幸せになろうなんて 10 年早い」に引きずり込まれてしまった。

<平成 10 年 1 月 卒論>

もはや、一刻の猶予もなかった。卒論の締め切りが迫っているのだ。ぎりぎりまで実験をやっていたのがそもそもの間違いだったのだが、今更悔やんでも仕方がない。時間が無い。そう、ただひたすらに時間が無かったのだ。

準備室にキーボードをたたき音が響きわたる。私はセンターのバイトをしつつ、卒論の作業を並行して進めていた。たとえキーボードの打ちすぎで腱鞘炎になろうとも、コーヒーの飲み過ぎで胃が破壊されようとも、ただただ卒論を書き上げなければならぬ。

しかし、現実には甘くない。1 月末はレポートのシーズン。こんなときに限って質問が次々と来る。早速ドアをノックする音が。

女の子「あの一、すみません。」
わたし「なんでしょう?」
女の子「ちょっと質問なんですけど・・・。」
わたし「はい?」
女の子「ホームページの見方を教えてください。(ニコ)」
わたし「・・・(プチ)」

て、手引き書を読んで自分で勉強してくれ。思わずそう叫びそうになった。しかし、仕事は仕事。そう、これが夜番のつとめ。徹夜で眠かろうと、締め切り一週間前に卒論が半分以上白紙であろうと、挙げ句の果てに実験装置が壊れて大パニックになったとしても、仕事は仕事なのだ・・・



基本的なことは手引き書に書いてあります。よく読みましょう。

<平成 10 年 2 月 チョコレートの日>

今日はチョコレートの日だ。「夜番の M さん、いつも親切に教えてくれてありがとう。」とたくさんの女の子がチョコを持ってきたらどうしよう。しかし、残念なことに春休み、夜番はない。がっかり。

<平成 10 年 3 月 別れ>

久しぶりに大学に来て、ちょっと顔でも出してみようかと RIISE を訪れた。

するとそこには、準備室で働く事務補佐員 H さんの姿があった。

わたし「こんにちは。」
H さん「あ、こんにちは。」
わたし「おひさしぶりです。」
・・・

H さん「あ、あの一、実は私 3 月いっぱいここをやめることになりました。」

がーん

ショックで 2,3 日立ち直れなかった。

<平成 10 年 4 月 RIISE 大人気>

どうも最近の RIISE は大人気である。まだ 4 月なのに新入生

の利用者が多く、昼休みともなれば超満員である。当然、それに比例してトラブルの件数も増える。ああ、頭痛が・・・



利用者が多いため、順番に並んで待ってもらおうようになっていきます。みなさまのご協力をお願いします。なお、空席がモニターに表示されるようになっています。

<平成 10 年 5 月 FTP 講義>

RIISE にあるファイルを総合情報処理センターに送りたいという人が現れた。それから延々、FTP について語る羽目に。あれ待てよ。フロッピーにセーブして持っていけ、といえはすぐじゃないか。むむ、まだまだ修行が足りないかな。



ファイルの転送(FTP)については UNIX の本を見て下さい。

<平成 10 年 6 月初旬 端末、危機一髪>

勝手に電源を落とした人がいた。何でもスクリーンセーバを起動した後、元の画面に戻れなくなり電源を落としたようだ。

<平成 10 年 6 月下旬 スチューデント・アドバイザー:SA>

一部の新聞でも取り上げられた SA。SA とは Student Adviser の略で、パソコン操作などで困った人たちを、ボランティアで助けてくれる学生のことだ。6 月 10 日から SA の募集を始めたところ、すぐに 7 人の 2 年生の応募があり、6 月下旬から実際に働いてもらうことになった。

「これで、かなり楽になるのでは?」しかし、運のない某 M 氏。彼らのいないときに限って質問が来る・・・



コンピュータのディスプレイの上に置かれた怪しいピラミッド型の置物(新しい事務補佐員の M さん作)が SA さん目印です。わからないことがあったら気軽に相談しましょう。

<平成 10 年 7 月 レポート>

レポートのシーズンだ。トラブルに関する質問もさることながら、中には授業の質問に来る人もいる。

質問者 A: ホームページの作り方を教えてください。
わたし: 授業で習わなかった?
質問者 A: 聞いたけどよくわかりませんでした(まだ許せる?)
質問者 B: 寝てました。(は?)
質問者 C: よくわからないので適当に作ってください。
わたし: ...



授業はちゃんと聞きましょう。

質問者 D: ホームページがうまく作れません。
わたし: どれどれ・・・
わたし: あれ? HomePage っていうフォルダがないけど? ファイルになってますね。
質問者 D: そうなんですか?
わたし: ところで、ファイルとフォルダの違い、それぞれの作り方知ってる?
質問者 D: 授業でなんかゴチャゴチャいってたけど、よくわかりませんでした。

ファイルとフォルダは難しいのかな? あれ、後ろで N 先生がぶるぶる怒りで震えている。(かつゆき記)

(M 君は火曜と水曜の夜番を担当しています。気さくに声をかけてあげてください。)